

## 「第9回東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議」

令和2年9月3日（木）13時00分  
都庁第一本庁舎7階 大会議室

### 【危機管理監】

それでは、ただいまより第9回東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議を開始いたします。

本日は、感染症の専門家といたしまして、東京都医師会の副会長でいらっしゃいます猪口先生にご出席をいただいております。ありがとうございます。

猪口先生には後程、感染状況等の分析に関しましてのご説明をお願いいたします。

会議の次第につきましては、手元に配付をしておりますペーパーの通りに従って実施をして参ります。

3項目目の意見交換につきましては、モニタリング分析の結果、そして、都の対応ということで、二つに分けて実施をいたしますので、よろしくをお願いいたします。

それでは早速ですが、2項目目の「感染状況・医療提供体制の分析」につきまして、猪口先生の方から説明をお願いいたします。

### 【猪口先生】

東京都医師会の猪口です。

皆さんのところには、別紙としてモニタリングのコメントの意見が置いておられると思いますので、大きく変わったところを中心にお話をさせていただきます。

コメントの方からです。

1、「新規陽性者数」、(1)ですね。新規陽性者数の7日間平均は前週の約225人から約183人に減少しているものの、依然高い水準で推移しておりますし、増加比でも減少の速度は緩やかであることから、再増加への嚴重な警戒が必要な状況です。

二つ目です。現在も院内感染が発生しているものの、第一波のような大規模なクラスターの発生が見られていません。院内感染の拡大防止対策が功を奏していると考えられます。

四つ目に飛びます。8月25日から8月31日まで、今週分の報告では、前週と比べ、20代から30代の割合が55.5%から48.9%に減少し、40代以上の割合が39.5%から43.7%に増加しました。要するに40代以上が非常に増えてきているということであります。

濃厚接触者における感染経路別の割合は、全世代合計で、同居する人からの感染が39.8%と最も多く、次いで職場が12.8%、そして会食、施設、接待を伴う飲食店等と続いております。接待を伴う飲食店等が7.7%でありました。同居する人からの感染は7月の1ヶ月平均19.1%から8月の1ヶ月平均は35.7%、2倍近く大幅に増加しております。

年代別で見ると、感染経路別の割合は、10代以下では、同居する人からの感染が71.2%と最も多く、次いで、保育園・学校などの教育施設での感染が7.6%でした。同居する人からの感染は、20代及び30代が26.0%、40代から70代は48.8%であり、70代以下では、同居する人からの感染が最も多かったです。80代以上では、施設での感染が56.8%と最も多く、次いで同居する人からとなっております。

今週も同居する家族からの感染が多数報告されるとともに、友人との会食、カラオケ、夏ですので、バーベキューなどによる感染や、会合等におけるクラスター例が報告されております。

家族以外との交流における基本的な感染防止対策の徹底が、家族内へ感染を持ち込まないためにも重要であると考えます。

9番目になります。

特別養護老人ホームなど、重症化リスクの高い施設において、無症状や症状の乏しい職員を発端とした感染が見られており、引き続き、高齢者施設と医療施設における施設内感染への警戒と検査体制の拡充が必要であります。

今週報告分の新規陽性者は1,389人で、保健所届出数は、渋谷区が119人と最も多く、次いで世田谷区118人、港区94人、新宿区90人、そして大田区と続いております。

島しょでも、複数の感染者が発生しており、都内全域に感染が拡大しています。

米印のところは、国の基準に合わせて書いておりますので、後でご覧になっていただければと思います。

②、「#7119における発熱等相談件数」ですが、7日間平均は63.1件であり、前週の69.7件から横ばいでありました。

③です。「新規陽性者における接触歴等不明者数・増加比」です。

接触歴等不明者数は、7日間平均で108名と前週の137名と比較すると減少しているものの、依然高水準であることから、今後の動向を注視するとともに、接触歴を調査する保健所への支援が必要であります。

新規陽性者における接触歴等不明者の増加比は、9月2日時点で79.4%、前週の86.7%に引き続き、100%未満でありましたが、減少の速度は緩やかであり、再度増加に転じることへの 심각한警戒が必要であります。

この90%近いところで転換しますと、すぐ100%を超えて、再増加にいく可能性があるという、そういう数字です。 심각한警戒が必要だと思います。

以上、「感染状況」であります。新規陽性者数と、それから陽性者における接触歴等不明者は右肩下がりで、下がっておりますけれども、総括コメントとしては、「新規陽性者数と、接触歴等不明者数は減少傾向にあるものの、その速度は緩やかである。感染者数の再増加に 심각한警戒が必要である。」と考えて、一番上の「赤」としております。

総括コメントに関して、1枚めくっていただきまして、総括コメントのところの表現を、緑、黄色、橙、赤としておりますが、この黄色と橙のところですが、これはコメント

が、感染が拡大しているところの部分だけ書いていたのですね。

今、落ち着きつつある局面に関しましては、例えば赤からオレンジ色になった時に、この「拡大しつつある」という表現がおかしくなってきますので、新しいコメントを加えております。

「感染の再拡大に警戒が必要であると思われる」と、それから黄色に関しましては、「感染の再拡大に注意が必要であると思われる」という具合に、コメントを加えさせていただきました。

医療提供体制の方も、同様に、黄色のところ「体制強化の状態を維持する必要があると思われる」という、そういうコメントを加えております。

では、続きまして、「医療提供体制」について、コメントを述べさせていただきます。

「検査の陽性率（PCR・抗原）」です。

2番目に入りますけれども、PCR検査件数のうち、陽性者数の割合は、9月2日の時点で3.8%と、8月26日の4.9%と比較して減少しました。

最近の1週間当たりの検査件数は、約30,000件前後で推移しております。

今週は、7日間平均の検査数は少なかったのですが、陽性率は減少しており、有症状の患者に検査が行き届いているのか、感染経路を追うための検査が充足しているのかなどを検討する必要があると考えております。

6です。新規陽性者数が減少傾向にある中、今後、経済活動が活発になると、感染機会が増加する恐れがあります。感染リスクが高い地域や集団及び高齢者施設などに対して、感染拡大抑止の観点から、無症状者も含めた集中的なPCR検査を行うなどの戦略を検討する必要があります。

PCRを一つの戦略と捉えて、展開をしていったらどうかということ、ここでコメントさせていただきます。

⑤です。「救急医療の東京ルール適用件数」、7日間平均の件数は47.3件で、前週の49.0件から横ばいでありました。

「入院患者数」です。

(1)、入院患者数は約3週間ぶりに1,500人を下回るものの、依然として高い水準で再増加への警戒が必要な状況であり、医療機関への負担が長期化しております。

新規入院患者数が420人、退院患者数が315人となっております。

入院調整本部の対応件数のうち、約9割以上が無症状の陽性者及び軽症者ですが、合併症を有する患者が多い状況です。

6番目まで飛びます。陽性者1,389人のうち、無症状の陽性者が19.2%を占めています。宿泊療養施設は3,044室を確保していますが、9月2日の宿泊療養施設の利用者に253人、自宅療養者は443人です。

8番目です。宿泊療養施設の一部で、英語による対応や、ITを活用し、オンラインで健康観察を行うなど、医療支援に当たる医師等の負担軽減対策を進めている。また、自宅療養者

についても、ITを活用した健康観察システムを9月1日から多摩立川保健所で先行導入し、保健所業務を支援する体制を整えつつあります。

保健所から入院調整本部への調整依頼件数は、1日60件程度で推移しておりますが、緊急性の高い重症患者や合併症を有する患者の依頼件数の割合が増加しており、特に土日祝日は受け入れ可能な病床数が少ない状況が続き、調整が難航しています。

入院調整の結果、入院先医療機関を決定した後、症状の改善や患者の希望でキャンセルする事例が1割程度発生しております。

宿泊療養とか自宅療養に関して、色々そういう準備が整って、色々な試みを始めたということをご報告させていただきます。

「重症患者数」です。

東京都は、その時点で、人工呼吸器又はECMOを使用している患者数を重症患者数として、医療提供体制の指標としてモニタリングしています。

いわゆる東京基準で、8月30日の重症患者数は34人まで増加しましたが、8月2日（※正しくは9月2日）には29人まで減少しました。

今週、新たに人工呼吸器を装着した患者は15人であり、人工呼吸器から離脱した患者は16人です。人工呼吸器使用中に死亡した患者さんは2人でありました。また、この間に新たにECMOを導入した患者さんはなく、ECMOから離脱した患者さんは2人であり、8月31日の時点で、人工呼吸器を装着している患者が29人で、うち3人の患者がECMOを使用しております。

9月2日時点の重症患者数は29人で、年代別内訳は40代が2人、50から60代が11人、それから、70代以上が16人であり、性別では、男性26人、女性3人でありました。

先週、「40代の重症患者数2人はどういう患者か」というご質問を受けましたけれども、この前の段階で合併症があることを確認しましたが、2人とも糖尿病を持っているのが特徴的かなとは思いますが。詳しいことはちょっと、個人情報になりますので、そこだけ伝えさせていただきます。

陽性判明日から重症化まで平均4.9日で、軽快した重症患者における人工呼吸器の装着から離脱までの日数の中央値は7.0日でありました。

新規陽性者数が依然として高い水準ながらも漸減している中、重症患者数は、増減を繰り返しながら横ばいでありました。今後の重症患者数の推移に警戒が必要であります。

重症患者数は、50代以上が多数を占めており、引き続き、家庭内における家族間、職場及び医療・介護施設内における感染防止対策の徹底が必要であります。

今週報告された死亡者数は、11人です。前々週の7人、前週は11人に増加し、今週は前週からの横ばいでありました。今後の死亡者数について注視する必要があります。

重症患者においては、ICU等の病床の占有期間が長期化することを念頭に置き、新型コロナウイルス感染症患者のための医療と、通常の医療との両立を保ちつつ、重症患者のための病床を確保する必要があります。一方、レベル2の重症病床500床（※正しくは300床）

を準備するためには、医療機関は第一波のピーク時と同様に、予定手術や救急の受け入れを大幅に制限せざるを得ないと考えております。

ということで、1枚目のモニタリングシートに戻りまして、下向きの矢印、検査の陽性率とかありますが、下の方の受入体制に関しては横ばいが三つとなっております。

医療機関への負担は長期化しておりまして、重症患者数の今後の推移に警戒が必要であるということで、「体制強化が必要であると思われる」ということで、上から二つ目を、今週も、そういうコメントとさせていただいております。

なお、都の指標、こちらのコメントシートの中で、米印で書いてある部分を、こういう表にしておりますので、ご参照ください。

感染の状況に関しましては、ほぼステージⅡ、一部分、感染経路不明の部分はステージⅢです。医療提供体制は、すべてステージⅢとなっております。

以上でございます。

#### 【危機管理監】

ありがとうございました。

それでは、3項目目の意見交換に移ります。

まず、ただいま猪口先生からご説明のありました、「感染状況・医療提供体制の分析」に関しまして、何かご質問等ございましたらお願いいたします。

よろしいですかね。

それでは、後段の都の対応に移りたいと思います。都の対応等につきまして何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

よろしいですかね。

それでは、最後になりますが、知事からご発言をお願いいたします。

#### 【都知事】

第9回のモニタリング会議、猪口先生には、本日もご参加、ご出席いただいております。ありがとうございます。

そして、先生方からは、先週に引き続きまして、「感染状況」は、最高レベルの4段階目で、「感染が拡大していると思われる」というレベル、最高レベルです。

「医療提供体制」は、3段階目の「体制強化が必要であると思われる」との総括コメントをいただいたところであります。

まとめますと、「感染状況」については、新規陽性者数は減少傾向にはあるが、依然高い水準で推移していて、再増加への厳重な警戒が必要な状況であること。

年代別では、全年齢層に感染が広がって40代以上の割合が増加していること。

島しょでも複数の感染者が発生していて、都内全域に感染が拡大をしているということ。そして、感染の経路であります。全年代の合計では、家庭内での感染が最多である。

そして、80代以上では、施設での感染が最多である。

友人との会食、バーベキューなどによる感染、会合等におけるクラスター発生例も報告されている。

そして、重症患者数ですが、増減を繰り返しながら横ばい、今後の推移に警戒が必要である。年代別では、50代以上が多数を占めており、70代以上が半数であるということでありますとのご指摘をいただいております。

以上のご指摘を踏まえまして、改めて、都民、そして事業者の皆様へのお願いがございません。

都民の皆様におかれましては、引き続き、家族以外との交流におけます感染防止対策を徹底していただきたい。家庭内へ感染を持ち込まないように、ご注意をいただきたい。

外出先におきましては、手洗い・消毒などの基本的な対策の徹底をお願いいたします。

会食については、長時間の飲食・飲酒、大声、至近距離での会話をお控えいただくことなど、改めてのお願いでございます。

また、重症患者数の増加の抑制でございますが、高齢者への感染を防ぐことが重要である。

同居家族に高齢者がおられる場合は、帰宅時などの手洗い、消毒、それから日用品を別々にするなど、感染の防止対策を万全にしていきたいということ。

以上が都民の皆様へのお願いでございます。

事業者の皆様へのお願いでございますが、ガイドラインの遵守、ステッカーの掲示についても、改めての徹底をお願いいたします。

利用者の皆様にも、お店の感染防止対策にご協力いただくようお願いいたします。

それから、二つ目のカテゴリーであります、「医療提供体制」でございますが、先生方のただいまのコメントを踏まえまして、引き続き体制の強化を図って参ります。

患者の受入れ体制ですが、2,800床の確実な確保に向けまして、都内医療機関に依頼しておりまして、現在は2,600床、内訳は、重症用が150床、中等症用が2,450床となっております。

宿泊療養施設ですが、現在3,000室を超える体制をとっておりまして、更なる活用を進めていきたいと考えます。

また、重症化リスクの高い高齢者施設などでの感染拡大を防止するために、職員や入所者を対象とした検査を推進して参ります。

都民、事業者の皆様、これまでもご協力をいただいております。改めて感謝を申し上げますと存じます。

そして、新規陽性者数は、この分析にありますように、減少傾向にはございますが、依然、厳重な警戒が必要であること。引き続き、気を緩めることなく、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

私からのコメント以上であります。

**【危機管理監】**

ありがとうございました。

以上をもちまして、第 9 回東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議を終了いたします。どうもありがとうございました。